



## 【ライフサイクルコスト比較表】

※本資料はあくまで概算であり、工事費や光熱費等を保障するものではありません。

一般家庭(4人暮らし)を想定しています。

エネルギー	オール電化	オール電化 <sup>プラス</sup> +浜坂温泉	プラス +浜坂温泉のメリット
熱源	エコキュート(460L)	エコキュート(240L)	毎日の浴槽分(約200L)のお湯が温泉になるので、エコキュートの容量を小さくすることができます。
初期費用	エコキュート機器費 ￥650,000	温泉加入金 ￥440,000 エコキュート機器費 ￥500,000 ※給湯装置設置工事 ￥0 (軽減措置により￥0で計算)	給湯装置の設置に係る工事費には軽減措置があり、加入金の額までは工事費の軽減を受けることができます。 ※詳しくはHPもしくは、役場上下水道課までお問い合わせください。
	合計 ￥650,000	合計 ￥940,000	
光熱費	(1ヶ月あたり) 水道料金 ￥4,500 電気料金 ￥25,000	(1ヶ月あたり) 水道料金 ￥3,600 電気料金 ￥20,000 温泉料金 ￥4,400	・自家用の温泉加入で10m <sup>3</sup> /月、使い放題!! ※一般家庭の平均使用量は約5m <sup>3</sup> /月 ・温泉を利用することで、加温にかかる電気代と、浴槽分の水道料金が安価になる為、経済的に。光熱費の差はほとんどありません。
	1ヶ月あたり合計 ￥29,500	1ヶ月あたり合計 ￥28,000	
	年間光熱費 約 ￥350,000	年間光熱費 約 ￥340,000	
設備更新(耐用年数)	エコキュート(460L) 10年	エコキュート(240L) 10年	—
設備更新費用	エコキュート機器費(460L) ￥650,000	エコキュート機器費(240L) ￥500,000	エコキュートの容量が小さい分、更新も安価に。
経済性比較(30年あたり)	初期費用 ￥650,000 設備更新費用(3回) ￥1,950,000 光熱費(30年分) ￥10,500,000	初期費用 ￥940,000 設備更新費用(3回) ￥1,500,000 光熱費(30年分) ￥10,200,000	・長期的に見れば《+浜坂温泉》の経済的なメリットは大きくなります。 ※デメリット※ 温泉成分により、金属部分が腐食するため、定期的なカランの取り換え、ユニットバスの選定時に温泉に対応できるものを選定する等、注意が必要になります。
	合計 ￥13,100,000	合計 ￥12,640,000	
1年あたり	¥440,000	¥420,000	オール電化とほとんど差がなく、 自宅で温泉が楽しめる!